



引き戸はアンティーク様だが建具からすべて新しいオリジナル製品。1枚1枚違う表情を見せるアンティーク調のガラスはフランス製



パブリック空間でもある土間と茶の間や個室などのプライベート空間の間に内玄関を設けると、カフェやギャラリーのような雰囲気



茅葺き屋根の民家をリノベーションしたモデルハウス「風のくら」

「ハウスランド社」の展示場
モデル住宅「風のくら」
古民家スタイルが好き！
西洋漆喰と無垢の木の家づくり
やすらぎのモデル住宅公開中

美しい自然が息づく広大な敷地に建つ「ハウスランド社」のモデル住宅「風のくら」。ここは、和洋のデザインセンスを調和させた広い土間を持つ、現代版の古民家。古民家風の家をお考えの方、必見です。

新築でも古民家のような
心温まる家を望む方へ

たとえ新築であっても「古民家のような落ち着いた雰囲気を持った空間」とか、「10年、20年先に味わいを増す空間」と、願う人が増えている。そういう夫婦にぜひ見ていただきたいのがこちら、「ハウスランド社」のモデル住宅「風のくら」だ。

ご覧のとおり、築140年に

る茅葺き屋根の古民家をリノベーションした外観は、周辺の木立や草花と馴染む和の趣意である。だが、引き戸を開けて入ると中の雰囲気は二転、テラコッタ風のタイルを敷き詰めた3畳にもなる土間が広がっているから目を見張る。料理や食事をを楽しむキッチンコーナー、読書を楽しむコーナー、そのすぐ横には音楽を楽しむコーナー...と、土間を中心に

様々な暮らしのイメージが広がっていく。細かい部分までこだわりが行き届いたデザインもまた秀逸。歴史を感じる太い梁や柱に漆喰の塗り壁、日本の伝統的な建物と欧州の古くから受け継がれてきた民家のモチーフとが調和するこの絶妙なセンス、探していた読者も多いの

ではないだろうか。古くても作った人や使う人の人柄が伝わるモノたちが持つ温もりや雰囲気をおおしく感じ、歳月を経てなお魅力的な表情になる、またはそのような可能性を持った住まいを好む人ならば、きっとこの「風のくら」を気に入るはず。家づくりのヒントをたくさん見つけてほしい。



house
exhibition
家づくりの
展示場訪問